

平成20年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	障害者が地域で暮していくための支援ネットワークづくりに関する研究
事業目的	<p>本研究は、入所施設からの地域生活移行に留まらず、その後の地域での暮らしに対する支援のあり方に着目した実証的研究であり、地域生活への移行を支援することの意味と、移行した後の地域での暮らしをどのように支援すべきかという点について、関係者にあらためて問題提起を行うことを目的とした。</p> <p>特に、地域社会との関係性や地域住民による支援に着目して調査研究、啓発活動を行った。</p>
事業概要	<p>地域生活へ移行した人を対象に、地域において、独自の生活が展開され、その生活が地域に根付いて、地域に溶け込んでいると思われる人34名を対象に、聴き取り調査及び参与観察による調査を実施した。</p> <p>また、調査員が主体となって、県内11地区で圏域フォーラムを開催して地域住民に啓発を図るとともに、平成21年1月末に長野市で「地域で暮らしていこうフォーラム」を開催し、全国に情報発信を行った。</p> <p>調査研究成果は、「地域生活に移行した障害者の地域における生活実態調査報告書」に集約し各関係機関に提供した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>調査報告書は、個別の暮らしの報告から、支援とは何か、利用者主体とは何か、地域に馴染むとは何か、障害福祉サービス提供事業者に支援についての示唆を提供する内容となった。</p> <p>このような成果は「地域で暮らしていこうフォーラム」において、750名を越える関係者とこの調査研究成果を共有したものであり、今後の相談支援従事者研修やサービス提供管理責任者研修等のテキストとして、また支援の現場において活用される予定である。</p> <p>また、圏域フォーラムには、2,000名近い関係者や地域住民の参加が得られ、今後の障害のある人たちを包み込む地域づくりに活かされ、より深い学びの場づくりにつながると期待される。</p>
事業主体	<p>長野県障害者地域生活支援研究会 〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉事業団内 TEL : 026-228-0337</p>